

構成	単元	内容
I 導入  (全体を俯瞰するために)	1 信仰をもって生きる	<p>オリエンテーション</p> <p>詩編23/祈りと識別への歩み</p> <p>十字架の出来事／「本当にこの人は神の子だった」（マルコ15:33-41）</p> <p>「わたしのことを思い起こしてください」（ルカ23：26-43）</p> <p>復活の信仰に生きる（ロマ6：1-11）</p> <p>神は愛（1ヨハネ4:7-4:21）</p> <p>信仰は聞くことから始まり、良い知らせを告げていく（ロマ10:8-17）</p>
	2 「カトリック教会のカテキズム」表題の意味	<p>聖書と聖伝／背景としての信仰共同体</p> <p>教会は一・聖・公・使徒的であること</p> <p>「わたしが信じます」から「わたしたちは信じます」への道程</p> <p>第2バチカン公会議と教皇の回勅</p>
	3 信仰と理性は両立する	<p>回勅「信仰と理性」から</p> <p>教父たちの理解</p> <p>（アウグスティヌス・カンタベリーのアンセルムス・トマス・アキナス）</p>
	4 聖書の構造	<p>聖書が物語ること・契約を結ばれる神が示すプロセス</p> <p>聖書の成立過程と文書配列</p>
	5 聖書の解釈	<p>通時的解釈／様式史・生活の座</p> <p>共時的解釈／語りの分析・物語理解</p> <p>ともに読み、ともに分かち合うなかで深めていく</p>

II	信仰箇条  わたしたちに啓示された神の在り方	1	使徒信条とニケアコンスタンチノーブル信条	三位一体という言葉ができた背景・教会の信仰理解  「父と子と聖霊のみ名によって」が意味するもの／交わり／関係性の中で現わされていく神の姿
		2	父である神	一般的な神という概念との相違／人格的交わりを求めていく方  「アッバ、父よ」イエスの祈り  イエスと敵対する人々との問答から（マルコ12:13-27）  天地創造と神の似姿（ImagoDei）  アブラハムの召命とイサクの奉献、ヤコブからイスラエルへ  エジプトからカナンへ荒れ野の旅による神の民の形成  愛といつくしみをそそがれる方/裁きと救い  ソロモンの神殿の意味と形骸化した宗教行為の拒絶
		3	御子であるイエス・キリスト	ロゴス賛歌  主の洗礼と十字架  主を愛しなさい、隣人を自分のように愛しなさい  互いに愛し合いなさい  ペトロの信仰告白／一人の信仰者としての歩み  詩編22／イザヤの主の僕の歌／イエスの受難  空の墓と復活・昇天へ（イエス・キリストと弟子たちの復活物語）  キリスト賛歌
		4	聖霊	聖霊降臨の出来事  イエスの告別説教  パウロの理解/教会をかたちづくる  キリストのからだとしての共同体性をつくりだす  聖霊の賜物と実り

III	信仰表現  主の食卓を囲むために  ともに捧げ、ともに祈る	1	秘跡理解の基本	7つの秘跡（目に見えない神の恵みを目に見えるしとことばによって）
		2	聖体の秘跡	5つのパンと2匹の魚／マナの出来事  主の晩餐の出来事／「わたしの記念として行いなさい」  わたしのからだ／わたしの血  ミサの式次第  イエス・キリストの自己奉獻と主の食卓理解（みことばの食卓と感謝の食卓）  イエス・キリストから遣わされていく者へ
		3	洗礼・堅信の秘跡	イエスとニコデモとの対話  洗礼を受ける意味／キリストの光が灯されキリストを着る者  堅信の意味／按手と塗油・使徒的,キリスト者／祭司職・王職・預言職  コリントの教会における出来事  成人洗礼と幼児洗礼・望みの洗礼／代父母／霊名
		4	ゆるしの秘跡	ゆるしの秘跡の式次第（緒言）  放蕩息子のたとえ／ダビデの出来事／詩編51  罪理解／告白すること／ゆるし理解  教会の奉仕の務めを通してゆるしが与えられることの意味／償い
		5	病者の塗油の秘跡	病者の塗油の秘跡の式次第（緒言）  四終（死・審判・天国・地獄）と煉獄  詩編130／終油から病者の塗油へ  ヨブの体験／「タリタクム」の出来事／癒し理解

III	<p>信仰表現</p> <p>主の食卓を囲むために</p> <p>ともに捧げ、ともに祈る</p>	6	婚姻の秘跡	<p>結婚式の式次第（緒言）</p> <p>カナの婚礼の出来事／ことばが出来事となっていく</p> <p>婚姻の絆（唯一性と不解消性）が法の保護下にあることの意味</p> <p>イシュとイシャーの関係性・二人は一体となる／人格的交わりの完成</p>
		7	叙階の秘跡	<p>聖なる者とされた人々（教会共同体）と召命（1コリント1:1-9,18-31）</p> <p>聖職者位階制度（助祭・司祭・司教）と組織から見た教会</p> <p>ペトロの後継者である教皇（Pontifex）と全世界の教会の一致</p> <p>教会の交わりと神の民（聖職者・信徒・修道者）理解</p>
IV	<p>祈り</p> <p>神に心を開く</p>	1	祈りへの招き	<p>霊による執り成し（ロマ8:26-29）</p> <p>待降節の意味／主の来臨と再臨</p>
		2	主の祈り	<p>山上の説教と主の祈り</p> <p>日毎の糧／みとこばと聖体によって養われていく</p> <p>黙示録の新しい天と地／「主イエスよ、来てください」</p>
		3	アヴェ・マリアの祈り	<p>おとめの意味／主の降誕の出来事</p> <p>神の母聖マリア／無原罪の聖母／聖母被昇天</p> <p>ロザリオの祈り／教会の祈り（詩編をとおして祈る）</p> <p>執り成しの祈り／黙想／巡礼</p>
V	<p>典礼</p> <p>祭司職を果たしていく</p>	1	時のサイクルのなかで信仰を表現していく	<p>典礼暦とミサ／典礼と信心業</p> <p>四旬節の意味／大斎・小斎</p> <p>典礼の頂点である復活徹夜祭と聖なる三日間</p>
		2	洗礼志願式と洗礼・堅信式	復活徹夜祭における洗礼・堅信の式次第

VI	生活の中の信仰 「行きましょう。主の平和のうちに (Ite,missa est)」 王職（牧職）と預言職	1	イエス・キリストから遣わされていく者になる	「善い先生」と尋ねていく金持ちの人（マルコ10：17~31）／十戒 聖人とわたしたち／良心と徳 現代世界憲章（司牧憲章）の概要と預言職の役割
		2	教会に所属することの意味	王職（牧職）における責任の自覚と自由意志 共同体をかたちづくりつづけるもの・祈りと奉仕の精神 共同体の一員としての役割／教会の5つの掟を考える 宣教の歩みと第2バチカン公会議以降のこれから 教会の台帳に記録されていく （洗礼台帳・堅信台帳・婚姻台帳・死亡台帳） 教会へ転出と転入の記録（信徒籍台帳）
VII	最後のまとめ	1	1年間の講義を通して	洗礼に向けて／振り返り 詩編23／わたしの人生を復活されたイエス・キリストとともに生きる